



第59回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

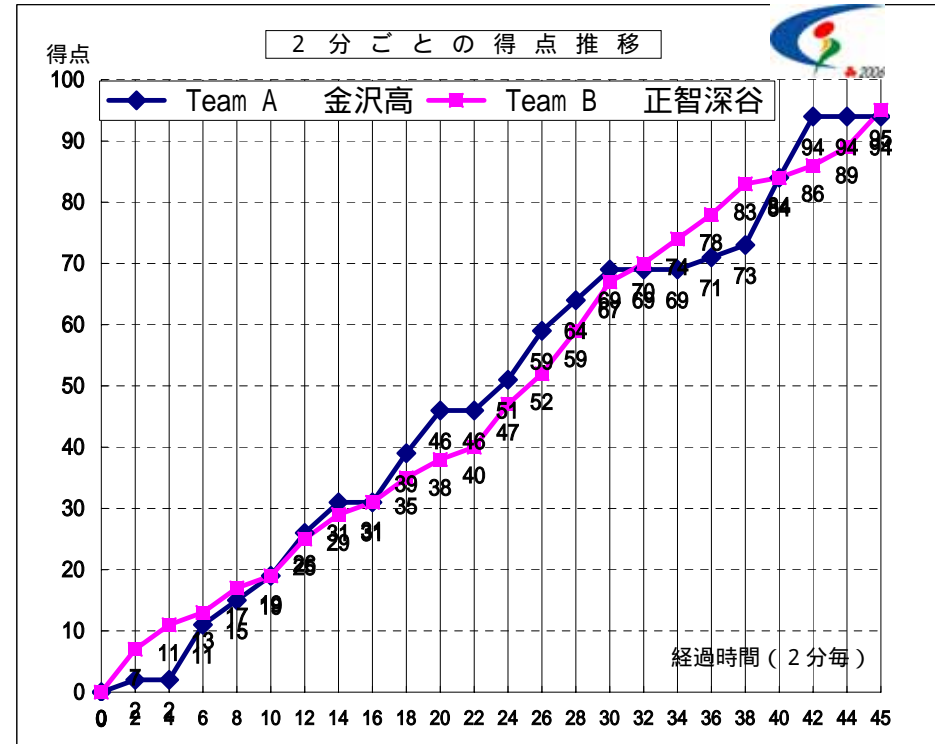
男子 1回戦

試合日	2006年8月2日
開始時間	16:10
会場	大阪府立体育会館
コート	Cコート
試合順	5 試合目

Team A		Team B
金沢高	94	95
石川県	19 - 19 27 - 19 23 - 29 15 - 17 10 - 11	正智深谷 埼玉県

	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
				4	平岡 明	44	5	12	11		17	7	7					
5	小向 純貴	2	0	0	1	1	0	0	5	2	3	5	3	1	0	0	28.5	
6	大積 京太郎	4	0	0	2	5	0	0	5	0	11	11	1	1	0	1	35.5	
7	宇波 圭祐	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	15.5	
8	槻 隆博	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	広瀬 誠	17	3	8	4	8	0	0	1	2	2	4	3	4	0	1	43.0	
10	柴田 祐希	21	6	8	1	1	1	2	1	0	4	4	2	0	0	0	22.5	
11	那谷 一樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
12	東 壤	2	0	0	1	3	0	0	3	2	0	2	1	1	0	1	18.5	
13	瀬戸 拓也	4	0	0	0	1	4	4	1	2	2	4	1	1	0	2	13.5	
14	林 大悟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	
15	島田 渉平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Team / Coach:										0	2	2	4				1	
合計			94	14	29	20	36	12	13	19	14	32	46	13	9	0	14	225
RATE			48.3%	55.6%	92.3%													

	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
				4	恋河内 和真	32	6	14	7		8	0	0					
5	鳥塚 悠太	6	0	2	3	8	0	1	4	4	4	8	2	1	1	1	30.0	
6	金岡 亮介	29	3	7	7	9	6	8	4	2	3	5	0	1	2	1	45.0	
7	川村 優輔	10	0	0	2	4	6	6	1	0	11	11	0	0	1	5	36.0	
8	小林 智	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4.0	
9	池田 祥	13	2	9	2	3	3	4	5	0	2	2	1	3	1	4	38.0	
10	久保 公彦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	斉藤 庚介	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	橋本 翔太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	大久保 裕平	1	0	3	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	10.0	
14	大久保 亮	4	0	1	2	3	0	0	0	1	2	3	0	0	1	2	17.0	
15	森田 泰広	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Team / Coach:										0	0	1	1				2	
合計			95	11	36	23	37	16	20	15	7	28	35	6	9	7	19	225
RATE			30.6%	62.2%	80.0%													



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	22:39	34:20	39:46	49:14		
TeamB	13:52	18:21	33:35	39:46	39:52	17:56

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

4年連続出場の金沢に対し初出場の正智深谷がどのように挑むか、興味深い一戦となった。互いに激しいディフェンスからファーストブレイクを得意とするチーム同士の対戦となったが、金沢は1-2-2ゾーンプレス、正智深谷はハーフコートマンツーマンと好対照なチームの対戦となる。

両チーム共、ガードの突破からのゲームメイクを得意とし、激しいラリーが続く中、第1P、19対19と全く互角のスタート。第2Pに入り、金沢は指令塔#4平岡のドライブイン、3Pで得点するが、正智深谷も#6金岡の連続3Pで応酬する。4分正智深谷タイムアウトの後、ディフェンスをハーフの3-2ゾーンに変え、フロントラインをしっかりと守るが、金沢は交代で入ってきた#10柴田がコーナーより3Pを2本沈め、徐々に引き離しにかけりプレスも効果的に作用して46対38、金沢リードで前半終了。後半に入り、ディフェンスは両チーム共ゾーンのままがプレッシャーが激しくなる中、逆にノーマークシュートが多くなり、金沢#4平岡と#10柴田、正智深谷#4恋河内と#6金岡がアウトサイドシュートをことごとく決め再び接戦にもつれ込む。第4P2分、ついに同点に追いついた正智深谷はその後インサイドが頑張り、69対72と逆転に成功。金沢タイムアウトの後、ディフェンスをマンツーマンにし、再び勝負をかける。金沢#4の執念の連続ゴールで残り6秒ついに追いつき試合は延長へ。両チームの死力を尽くした戦いの中、互いに#4が3Pを沈め大接戦となったが最後は正智深谷がフリースローを決め、95対94と逆転に成功し勝利した。会場中を感動させた素晴らしいゲームであった。

主審	片寄 達	副審	石川 淳也	戦評	西川 覚
----	------	----	-------	----	------